

海洋基本法(平成19年制定)に基づく海洋基本計画(平成20年閣議決定)の概要

第1部 基本的な方針

① 海洋の開発及び利用と海洋環境の保全との調和

水産資源の回復、エネルギー・鉱物資源の技術開発プログラムの策定等が必要



サンゴと魚たち
出典:水産庁HP

② 海洋の安全の確保

安全の確保のための制度の整備と体制強化、海上交通の安全確保、自然災害の脅威への対応強化等が必要



タンカー火災事故
出典:海上保安庁HP

③ 科学的知見の充実

海洋に関する調査・研究体制の整備、人材の育成・確保、研究開発の戦略的推進等が必要



しんかい6500
出典:(独)海洋研究開発機構HP

④ 海洋産業の健全な発展

海洋産業の国際競争力や経営基盤の強化、新産業創出の促進等が必要



コンテナ船
出典:国土交通省港湾局HP

⑤ 海洋の総合的管理

海洋の様々な特性を総合的に検討する視点を持って、国際海洋秩序の形成、EEZ等の適切な管理等に取り組むことが必要



総合海洋政策本部参与会議の様子
出典:総合海洋政策本部HP

⑥ 海洋に関する国際的協調

海洋秩序の形成・発展に先導的役割を果たすとともに、国際司法機関の活用・支援、国際連携・協力の積極的推進等が必要



国連会議の様子
出典:国連広報センターHP

第2部 政府が総合的かつ計画的に講ずべき施策

① 海洋資源の開発及び利用の推進

水産資源の管理措置の充実、取締り強化等。エネルギー・鉱物資源の商業化に向け資源調査等を推進。

② 海洋環境の保全等

海洋保護区のあり方の明確化と設定、水環境の改善、漂流・漂着ゴミ対策、地球環境保全への貢献。

③ 排他的経済水域等の開発等の推進

大陸棚限界設定の努力。科学的調査等の制度整備を含む検討・措置。エネルギー・鉱物資源開発計画。

④ 海上輸送の確保

外航海運業の国際競争条件整備、船員等の育成・確保のための環境整備、海上輸送拠点の整備。

⑤ 海洋の安全の確保

安全の確保のための制度の整備、体制強化、海上交通の安全確保、自然災害への対応強化等を推進。

⑥ 海洋調査の推進

海洋管理に必要な海洋調査の実施、海洋情報の一元的管理・提供・蓄積体制の整備。

⑦ 海洋科学技術に関する研究開発の推進等

研究開発の推進、船舶等の施設設備や人材等の基盤整備及び関係機関の連携強化。

⑧ 海洋産業の振興及び国際競争力の強化

経営体質の強化、技術力の維持等による競争力の強化、海洋バイオマス等新技術の開発・導入。

⑨ 沿岸域の総合的管理

総合的な土砂管理等の陸域と一体の施策、適正な利用関係の構築、管理のあり方の明確化等の推進。

⑩ 離島の保全等

離島の保全・管理に関する基本的方針の策定、創意工夫を生かした産業振興等による離島の振興。

⑪ 国際的な連携の確保及び国際協力の推進

周辺海域の秩序、国際約束の策定等に対応。国際的取組への参画、諸分野での国際協力を推進。

⑫ 海洋に関する国民の理解の増進と人材育成

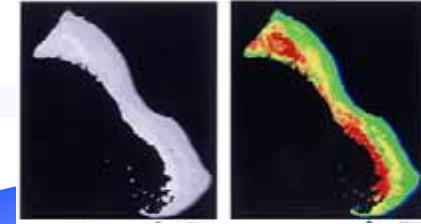
海の日における表彰等の行事の推進、学校教育及び社会教育の充実、人材の育成。

海洋基本計画と宇宙基本計画との連携

陸、海、空／宇宙のインフラは互いを支え、効果的に機能することにより、我が国のみならず地球規模での持続可能な社会形成に貢献する総合システムとなる。広大な経済水域を有する我が国であればこそ、海洋・宇宙の連携・融合を推進すべき。

| 海洋基本計画の基本的な方針 | 宇宙基本計画の基本的方向性(抜粋) |
|--|---|
| <p>海洋の開発及び利用と海洋環境の保全との調和 水産資源の回復、エネルギー・鉱物資源の技術開発プログラムの策定等が必要</p> <p>海洋の安全の確保 安全の確保のための制度の整備と体制強化、海上交通の安全確保、自然災害の脅威への対応強化等が必要</p> <p>科学的知見の充実 海洋に関する調査・研究体制の整備、人材の育成・確保、研究開発の戦略的推進等が必要</p> <p>海洋産業の健全な発展 海洋産業の国際競争力や経営基盤の強化、新産業創出の促進等が必要</p> <p>海洋の総合的管理 海洋の様々な特性を総合的に検討する視点を持って、国際海洋秩序の形成、EEZ等の適切な管理等に取り組むことが必要</p> <p>海洋に関する国際的協調 海洋秩序の形成・発展に先導的役割を果たすとともに、国際司法機関の活用・支援、国際連携・協力の積極的推進等が必要</p> | <p>宇宙を活用した地上の豊かさ・安心・安全の実現 ・行政及び民間の利用ニーズに継続的に対応 ・資源探査や農業・漁業等に資する陸域・海域観測をはじめ、気象観測、災害監視等の国民生活の豊かさや安心・安全への貢献 人類共通課題である地球環境変動の解明に向けた取組 準天頂衛星等を活用した地上システムとも連携することによるパーソナルナビゲーションなどの新たなサービスの創出等を推進 ・衛星データを国のアーカイブとして確実に管理する体制が重要。幅広く公共の利用に供される衛星データをユーザがより使い易くする取組を進める。</p> <p>宇宙を活用した安全保障の強化 ・安全保障上重要な施策の一つである宇宙からの情報の収集、処理、分析、活用等の情報収集機能については、その機能の拡充、強化に向けた取組を図る。</p> <p>宇宙外交の推進 ・気象観測、地球環境観測、災害監視等の分野での協力のみならず、宇宙開発利用分野における知見等を、アジア・太平洋地域に加えアフリカや中南米地域等における外交ツールとして活用する。 ・国際社会における役割を主体的・積極的に果たすことにより、我が国の国際的リーダーシップの発揮や国際社会の持続的発展に向けて貢献する。</p> <p>21世紀の戦略的産業の育成 人類の夢・次世代への投資</p> |

宇宙が貢献できる海洋政策の課題



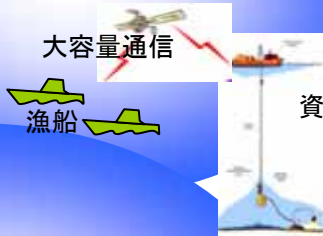
珊瑚礁マップ(グレートバリアリーフ)

海洋資源の開発・利用推進

- 【水産支援】: 漁場推定、大型クラゲ漂着推定、漁船操業安全(荒天等)、赤潮監視
- 【海底資源の開発支援】: オイルスリック検出
- 【海洋開発支援】: 施設設計・運用支援
- 【海洋産業の振興】: 通信インフラ



2000年に発生した赤潮観測例 (LANDSAT-5)



大容量通信

漁船

資源開発

EEZ管理・開発の推進

- 【EEZ監視、基礎情報収集】: 海洋環境の監視、権益確保、海底地形調査等
- 【情報インフラ】: 海洋台帳、通信インフラ

海洋環境の保全等

- 【沿岸環境】: 水質監視、珊瑚礁監視、炭素貯蓄能力の把握支援、保護区、炭素循環把握、温暖化影響監視
- 【流域圏管理】: 流域圏監視
- 【CO2貯留】: CO2の海底貯留支援

離島の保全等

- 【離島の生活支援】: 情報通信インフラ (大容量通信、遠隔医療等)
- 【遠隔離島の監視】: 施設維持管理・自動観測支援

宇宙は海洋における
様々な課題の解決や
産業振興に大きく貢献

海洋調査の推進/研究開発の推進

- 【自動観測・深海探査の高度化】: ブイ等の位置制御、自動観測支援
- 【海洋監視・研究支援】: 衛星による流況把握、水循環等の研究支援
- 【生態系調査支援】: バイオロギング、生物多様性の把握

海上輸送の確保

- 【海運支援】: 経済運航、安全運航 (荒天・波浪等)
- 【海洋産業の振興】: 通信インフラ

民間サービス会社によるプロダクト提供イメージ

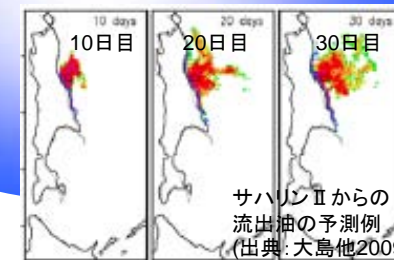


海洋の安全の確保

- 【沿岸防災】: 津波・高潮・海氷・波浪・海上風の監視
- 【船舶運航】: 船舶の運航管理、不審船監視
- 【海洋事故対策】: 救命救助支援、油流出対策
- 【セキュリティ】: 統合情報ネットワーク

沿岸域の総合的管理

- 【漂着ごみ対策】: 漂着予測・追跡
- 【環境アセスメント】: 沿岸域の調査・研究の推進



海洋ガバナンスに対する宇宙からの貢献のイメージ

宇宙のCapability

海洋のGovernance

海域全体をカバーする 通信インフラの整備への貢献

EEZを管理するための活動支援として通信インフラの整備は必須。

- 遠隔離島住民の生活レベル向上にブロードバンド通信や遠隔医療サービスを可能とする衛星通信が効果的。(離島離れを防ぐ効果)
- 遠隔無人離島を常時監視するためには衛星通信が必須。
- バイオロギングや漂流型ブイ等では位置計測と衛星通信が重要。
- 海上で活動する船舶の効率的な運用や安全確保のための通信や情報提供には衛星通信が最適。

海域管理に資する 情報インフラの構築への貢献

EEZを保全・管理するための海洋台帳整備に貢献する。

- 各種海図作成時に必須となる高精度な位置計測。
- 海底地形図の補完や海底資源分布の推定に利用。
- 海況情報、海上気象情報の提供。